

## 1 単元名 おいしい読書

## 2 単元を貫く言語活動とその特徴

本単元を貫く言語活動として「新聞を活用してニュース番組をつくる」という活動を位置付けた。ニュース番組とは、取材、編集、放送というプロセスを経て、社会の出来事を広く告知させるものである。ニュース番組をつくるという目的に応じて、新聞から必要な情報を集め、読み取る活動である。このことで、「本や文章などから必要な情報を集めるための方法を身に付け、目的に応じて必要な情報を読み取ること。」(C読むことカ)を実現できるようにしている。

## 3 単元について

## (1) 生徒観

ア 新聞から必要な情報を集めるための方法を身に付けることに関する生徒の実態

本学級の生徒は、半数以上が新聞の紙面構成に関する基本的な知識を持っていないことが、実態調査から分かった。正答例としては、トップニュース、新聞名、天気、見出しなどが挙げられた。誤答例としては、番組表、スポーツ、経済、環境などが挙げられた。

イ 目的に応じて必要な情報を読み取ることに関する生徒の実態

本学級の生徒は、紹介するという目的に応じて、必要な情報を過不足なく読み取ることができる生徒が、\*人であった。読み取った内容が、紹介として不十分な生徒が多く、情報を整合性をもって取り出せず、見出しのみを書き写したのや、箇条書きで情報を並べただけのものがあつた。

## (2) 教材観

中学校学習指導要領解説国語編(平成20年9月)(以下「解説」という。)第1学年の「C読むこと」の「①指導事項」には、「カ 本や文章などから必要な情報を集めるための方法を身に付け、目的に応じて必要な情報を読み取ること。」と示されている。「カ 読書と情報活用に関する指導事項」には、「『必要な情報を集めるための方法』とは、例えば、必要な情報があるかどうかを、本の表題や目次、索引などから判断したり、新聞の紙面構成に基づいて、必要な部分を探して読んだりするなど、それぞれの資料の特性を生かした読み方をするのである。」と示されている。また、「『目的に応じて必要な情報を読み取る』ためには、文章の中で必要だと思つた部分に印を付したり、必要な部分を抜き書きしたりしながら読み進めることなどが考えられる。」と示されている。以上のことから、新聞の紙面構成を学習し、必要な情報を集めるための方法を身に付け、ニュース番組をつくるという目的に応じて、自分の担当するコーナーに必要な情報を読み取る活動をすれば、本や文章などから必要な情報を集めるための方法を身に付け、目的に応じて必要な情報を読み取る力が育つと考える。

## (3) 指導観

指導に当たっては、まず、実際にテレビで放映されたニュース番組を視聴し、ニュース番組づくりのモデルを提示する。次に、新聞クイズや、新聞ビンゴを行い、新聞に親しみながら、新聞の紙面構成を学び、新聞から必要な情報を集めるための方法を身に付ける。そして、ニュース番組をつくるために、自分の担当するコーナーにあつた情報を選び、読み取る活動を行う。このようにして、本や文章などから必要な情報を集めるための方法を身に付け、目的に応じて必要な情報を読み取る力を育てたいと考え、本単元を設定した。

#### 4 単元の目標

- 課題に沿って新聞記事を選び、その内容を進んで紹介しようとする。  
(国語への関心・意欲・態度)
- 新聞から必要な情報を集めるための方法を身に付け、目的に応じて必要な情報を読み取ることができる。  
(読むこと)
- 文章を読んで意味の分からない語句を辞書で調べたり、前後の文との関係から推し量ったりして、文脈上の意味を捉えることができる。  
(伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項)

#### 5 単元の評価規準

国語への関心・意欲・態度	読む能力	言語についての知識・理解・技能
・課題に沿って新聞記事を選び、その内容を進んでニュース番組にして紹介しようとしている。	・新聞から必要な情報を集めるための方法を身に付け、ニュース番組をつくるために必要な情報を読み取っている。	・新聞記事を読んで意味の分からない語句を辞書で調べたり、前後の文との関係から意味を推し量ったりして、文脈上の意味を捉えている。

#### 6 単元の指導計画（6時間扱い）

学習活動・内容	指導上の留意点・評価
<p>1 本時の学習課題をつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>ニュース番組にしたい記事を探して、読もう。</p> </div> <p>(1) ニュース番組づくりのパターンを確認する。</p> <p>ア 記事くるりん型 イ キーワード張り出し型 ウ キーワードめくり型 エ コメンテーター・記者会見型</p> <p>(2) 自分たちの担当するコーナーを確認する。</p> <p>ア トップ記事のコーナー イ 文化面コーナー ウ 地域面コーナー エ 総合面コーナー オ 国際面コーナー カ スポーツ面コーナー キ 政治面コーナー ク くらしコーナー ケ 社会面コーナー</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前時に確認した、ニュース番組づくりのパターンを、教師が用意した実物を使って確認することで、本時の学習課題をつかめるようにする。</li> <li>・拡大した記事を可動式ホワイトボードの裏に貼り、回転させて登場させる。視覚的な面白さをねらった紹介の仕方を提示し、学習への関心を高める。</li> <li>・キーワードを短冊黒板に貼り出しながら、記事を紹介する方法を提示し、記事の重要な部分を引用しながら紹介できるようにする。</li> <li>・記事によっては、図や表、グラフを用いて、紹介する方法を提示し、キーワードを隠した状態から、めくりながら紹介できるようにする。</li> <li>・ニュース番組に、コメンテーターや、記者会見、インタビューを取り入れ、多面的に記事を捉えて紹介できるようにする。</li> <li>・つくりたいコーナーをあらかじめ生徒自身に決めさせておき、興味・関心を持って活動に取り組めるようにする。</li> </ul>
<p>2 グループごとに担当するコーナーに合わせた新聞記事を探し、読み取る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4人グループを基本とし、1グループ5分程度のコーナーを担当して、クラス全員で</li> </ul>

(1) 1週間分の新聞から、担当するコーナーに合う記事を探す。

〈記事の例〉

- ア 東京オリンピック開催決定
- イ リニアモーターカー工事難航
- ウ ご当地キャラ集合
- エ 被災地の状況
- オ 沖縄問題
- カ 野球・サッカー
- キ 安倍政権支持率
- ク 水難事故の防止
- ケ J R北海道脱線事故

(2) 聞き手が興味をもちそうな記事に絞る。

(3) 見出し・5W1Hをおさえ、必要な情報を読み取る。

〈見出し例〉快進撃の巨人 スキなし独走

WHO…巨人 When…22日

Where…東京ドーム What…優勝した

Why…スキのない試合運び

How…広島に2対1

(4) 意味の分からない語句は、辞書で調べる。

- ・快進撃…気持ちよく勝ち進むこと。

(5) どの型を使って記事をニュース番組にするか考える。

- ・キーワード「長嶋茂雄終身名誉監督を抜く6度目のリーグV」
- ・コメンテーター「クライマックスシリーズでも頑張っていて欲しいですね。」

3 本時の振り返りと次時の課題の確認をする。

- ・担当コーナーに合う記事を、友達と協力して探せた。
- ・記事の内容を、5W1Hをおさえて読むことができた。
- ・ニュース番組にするために、面白い記事を探ることができた。

一つのニュース番組をつくることで、生徒が自ら目的を持って新聞から必要な情報を選ぶ活動ができるようにする。

- ・1週間分の新聞を用意することで、自分のグループが担当するコーナーに合う記事を、多くの情報の中から選ぶことができるようにする。
- ・目的に合った記事の探し方が分からない生徒には、既習のワークシートから、情報の探し方を確認し、どこを見れば必要な情報が探せるのかが分かるようにする。
- ・担当コーナー以外で面白い記事を見つけたら、その記事に合うコーナーを担当する班に情報を提供するように勧める。
- ・紹介する記事を絞る際に、迷っている班があったら、聞き手の興味はどうか、という観点で選べるように助言する。
- ・記事が短く、情報量が足りない場合には、複数の記事を紹介してもよいことを助言する。
- ・5W1Hの探し方がわからない生徒には、前時の学習を振り返り、見出しなどから探せるように助言する。
- ・辞書を人数分用意し、分からない語句をすぐに調べられるようにする。
- ・ニュース番組づくりの資料を掲示し、参考にできるようにする。

〔評〕 ニュース番組をつくるために、新聞から必要な情報を集め、目的に応じて必要な情報を読み取っている。

(ワークシート・評価用座席表)

- ・自己評価で本時の振り返りをし、次時の活動の足がかりとする。
- ・いくつかのグループが本時の振り返りと次時の課題を発表し、次時への意欲を高めた。